

中央区笹丘校区自治連合会

危機管理部が校区の
安心・安全に取り組んでいます

笹丘校区自治連合会の危機管理部は、平成17年度から校区全体の「防災」「防犯」に取り組んでいましたが、平成20年度からは「交通安全」を加えて3つの活動に取り組んでいます。啓発広報・交通安全推進・災害支援などの7部から成り、統括部長のほか各町内会長と各種団体長が委員となって約100名で活動しています。

校区内で犯罪が発生したり、樋井川が危険水位を超えるなど、危機や緊急事態が発生した場合には、統括部長から各部長や委員、任意登録の方など約200名にメールが送信され、それぞれの役割に応じて配置、声かけ、自主避難などに対応することになっています。

平成21年7月、集中豪雨により避難勧告が出た際にも、危機管理部が日頃の危機管理の意識や訓練の成果を発揮し、地域への広報・見回り、公民館への誘導などをスムーズに行ったので、住民の皆さんから感謝されました。

さらに住民の皆さんにも危機管理意識を持ってもらうために校区総合訓練だけでなく、安心安全教室、夏祭りや運動会などの行事の際に活動報告を行っていることから、危機管理部からの緊急メールの配信希望者が増えています。また校区内の病院や薬局、コンビニなどの商店や会社にも緊急時の協力の輪が広がってきています。

今後の活動目標は、住民がもっと顔見知りになり、大人から子どもまで自然とあいさつや声かけが増えていくことによって、みんながみんなを思い合う「地域の力」をより大きくしていくことです。

11月7日、校区の防災訓練を行いました。

一度体験しておけば、いざというときに役に立ちます。



消火訓練

いざというときに家庭で消火器を使う際に、とまどわないよう、水消火器を使って消火訓練を行いました。



心肺蘇生訓練

救急車が到着するまでの間に適切な応急措置ができれば、救命率が大きく上がります。消防局の指導で、心肺蘇生法を学びました。



大声コンテスト

万一、犯罪に巻き込まれそうな場合、ためらわず大きな声で助けを求めましょう。コンテストを通じて大声を出す練習をしました。



室見川灯明まつり ～校区一体となったまちづくり～

平成13年、有田校区まちづくり実行委員会の大きなイベントとして「有田灯明まつり」がスタートしました。毎年試行錯誤を重ねながら、校区を中心に大人から子どもまで800人以上が参加し、半年以上前から企画や灯明の製作に取り組んでいます。

はじめは室見川河川敷に4千個の灯明を灯しましたが、回を重ねる毎に数が増え、名称も「室見川灯明まつり」に変更しました。第9回目を迎えた本年度は「流れに映す万華鏡」と題し、9月26日(土)に2万個の灯明を灯しました。



今回は天気に恵まれたので、遠近各地から3万人もの観衆が訪れました。心地よい風と水面に映った灯明の光が、一段とすばらしい雰囲気をかもしだしていました。観衆の方々も、初秋のひとつきを楽しんでいただけたと思います。

第10回目の節目を迎える来年度は、どんなテーマでどんなデザインで開催しようかと実行委員一同は早くも来年の「灯明まつり」に思いを馳せています。

リヤカーで行こう!太宰府キャンプ ～子どもの力を信じて～

「なんでわざわざリヤカー?」と、よく聞かれます。キャンプをするとき、自分達の荷物をみんなで運ぶ手段として、リヤカーは最適なのです。「子どもはリヤカーを引いて往復30kmを歩く。大人は一切、手を出さない」のがこの活動のルールです。

この行事は、平成17年に公民館事業としてスタートし、翌年から青少年育成連合会と共催し、5年目となる今回は9月20日と21日の2日間で行いました。公民館を出発し、約6時間をかけて宝



満山ふもとの麓かまどの
竈門神社を
目指します。

この活動を通じ、私たち大人は、“子どもがやれない”のではなく、“子どもにやらせていない”という事に気付かされました。子ども達の経験と成長の芽を確かに育むためには、大人は安易に手を出さない事の大切さと、同時に難しさを学びました。

参加した子どもの殆んどが「きつかったけど楽しかった。また来年も行きたい」と言います。やり遂げた時の大きな達成感と自信が、子ども達をたくましく変えていくようです。

この体験は、子ども時代の豊かな思い出になるに違いありません。



大相撲ちゃんこ鍋交流会

香陵校区では社会福祉協議会の主催で、鳴戸部屋のお相撲さんと高齢者60名の参加のもと、「大相撲ちゃんこ鍋交流会」を開催しました。

二人のお相撲さんに「ちゃんこ鍋」の作り方を教えていただき、そのおいしさを全員で味わい、九州場所での活躍を応援する会です。おいしい「ちゃんこ」作りは、力士の健康管理に気を配り、親方とおかみさん自ら考えられているとのこと。“強い力士の原点は食にあり”と痛感しました。



できあがった「ちゃんこ」が全員に振る舞われると、そのおいしさに思わずどの顔も「にっこり」。

おなかいっぱいになった後は、お相撲さんが語る角界の話に驚いたり笑ったり、和やかな雰囲気の中「ちゃんこ」と一緒に元気をもらった交流会となりました。



福岡市住民自治フォーラム 開催決定!!

福岡市の自治のあるべき姿などについて、コミュニティや市民の皆さんとともに考える「住民自治フォーラム」を開催します。

日時:平成22年2月10日(水)

13時30分から(開場は13時)

場所:中央市民センター(中央区赤坂2丁目5-8)

内容:基調講演、パネルディスカッション、事例発表など

定員:500名(入場無料、事前申込不要)

主催:福岡市

共催:福岡市自治協議会等7区会長会

お問い合わせ:市民局コミュニティ推進課

TEL 733-5161 FAX 733-5595

お問い合わせ・地域の情報 などはこちらまで



- 東区役所地域支援課
TEL 645-1041 FAX 645-1042
- 博多区役所地域支援課
TEL 419-1048 FAX 452-6735
- 中央区役所地域振興・支援課
TEL 718-1060 FAX 714-2141
- 南区役所地域支援課
TEL 559-5072 FAX 561-5360
- 城南区役所地域支援課
TEL 833-4061 FAX 822-2142
- 早良区役所地域支援課
TEL 833-4416 FAX 851-2680
- 西区役所地域支援課
TEL 895-7036 FAX 882-2137

○市内の地域活動をJ:COMMUNITY福岡で放送していますが、ホームページでもご覧になれます。

<http://www.jcomfukuoka.com/tv/weekly/>

※ウイークリーふくおか>タウンレポート

○福岡市コミュニティ通信は、福岡市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>

※生活情報>コミュニティ・地域の活動・NPO・ボランティア>コミュニティ・地域の活動

南区大池校区

南区自治組織協議会
おおいけ会<校区自治協議会>

中村 健士会長



- ①鴻の巣山(標高100m)の東南丘陵地帯に広がる、緑の豊かな住宅地ですが、斜度12°~17°の坂道は普通で、22°の生活道路もあります。人口は8300人、世帯数は3300戸、老年人口割合は19%という状況です。
- ②おおいけ会は、安全安心部、青少年育成連合部、環境推進部、スポーツ部及び男女共同参画部の5部で組織しており、まちづくり基本事業の6項目(安全・安心、子ども、環境、健康、スポーツ、男女共同参画)の活動を推進しています。
- ③各部は、それぞれの事業に「子どもが参加できないか」「子どもの健全育成にかかわる事業を取り入れられないか」の視点に立って、年間事業の企画・立案をしてきましたが、これからも、「子どもの健全育成は、学校・家庭・地域が三位一体となって」の言葉を単なるスローガンに終わらせないために3者の連携をより一層深めていきます。

城南区堤丘校区

城南区自治協議会連絡会議
堤丘校区自治協議会

小林 昌樹会長



- ①油山の麓に広がる閑静な住宅地で、南北に油山観光道路が走っています。校区の自治会の数が4つと少ないため、各自治会の連携が良く、すぐにまとまって校区として取り組むことができます。
- ②子ども達に地域の伝統行事を伝えていきたく、昔行われていた盆綱や奉獻行(どんど焼き)を、平成8年に復活させました。盆綱は今では1,500人が参加するようになりました。また、安心安全も重視しており、防犯パトロール車で毎日、子どもの下校時間にあわせ、4自治会が協力してパトロールをしています。
- ③居住者の方には、ぜひ自治会に加入してほしいと思っています。それぞれの自治会も色々な活動を行っているので、たくさんの住民に参加していただき、地域活動が大事だと思っていただければ、ますます地域が活性化していくことになるので、それを目指しています。

早良区脇山校区

早良区地区自治組織連絡協議会
脇山校区自治協議会

結城 勉会長



- ①早良区の南部に位置し、福岡市の中でも少子高齢化と過疎化が進んでる地域でもありますが、福岡市で一番面積が大きく(南区の面積とほぼ同じ)、大半を山林でおおわれた緑豊かな校区という特性を活かし、「水と緑にいだかれた住みやすいまち」を目指しています。
- ②少子高齢化の進むなかで、小学校と連携した「お田植え舞伝承事業」や「校区合同運動会」「子どもグリーンツーリズム」をはじめ、(財)オイスカ西日本研修センターと連携した国際交流事業など、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。
- ③当校区への定住を希望する方はたくさんいますが、校区の大半が市街化調整区域となっていることや、既存宅地に関する法律の施行などの課題もあるので、過疎化の歯止めについて行政とともに取り組んでいきたいと思っています。

西区姪浜校区

西区自治協議会会長会
姪浜校区自治協議会

多田 安幸会長



- ①地下鉄や都市高速道路が伸び、西区の玄関口として発展しています。区画整理事業の完了により住宅地、商業地として急伸び、人口増加が著しい地域です。平成22年4月には姪浜、内浜校区から分離して姪北校区自治協議会が誕生します。
- ②自治協議会を構成する全団体の役員で活動内容を話し合いながら事業等を実施しています。毎年行っている夏祭りには、新しく転入した住民の参加も年々増加しています。年末の「ふれあい餅つき大会と環境美化活動」、環境面では住民参加の「花いっぱい運動」、防災面では各町内会(支部)での「単独防災訓練」、その他にも「健康づくり」などの事業を実施しています。
- ③「住みよい安全安心のまちづくり」を目標に、事業への若者の参加促進、町内会未加入者への働きかけ、高齢者や子ども達に対する支援に取り組んでいきます。